

利益相反定期自己申告書の提出にあたって

以下の注意事項をご参照のうえ、対象者は期間内に自己申告書を提出してください。

1. 対象者について

本年度の利益相反定期自己申告の対象者は以下のとおりです。対象者は、産学連携活動等に該当がない場合でも申告の必要があります。その場合は、NO を選択する簡単な記入となっておりますので、未提出と区別するためにも必ず提出をお願い致します。

役員		○
教員	大学教員	○
	附属学校教員	×
特命職員	特命教員	○
	特命研究員	○
	特命一般職員	×
非常勤研究員(ポスドク研究員、産学官連携研究員、科研費研究員)		○
事務職員		×
技術職員 (施設運営部の技術職員は対象外)	技術職員等(常勤) ※医療系職員(看護師、助産師除く)を含む	○
	技術補佐員	×
看護職員		×
教務職員		○
技能職員		×
労務職員		×

○…対象、×…対象外

※対象者には下記「3. 申告書の配布方法」のとおり個別に通知いたしますが、ご自身が対象かどうか確認したい場合は、地域連携推進課(内線: 2013)、もしくは各部局の総務担当係までご連絡ください。

2. 提出期間

6月19日(水)まで

3. 申告書の配布方法

対象者には、職員録の個人 E-mail アドレスに、申告書を送付いたしますので、ご確認をお願いします。ただし、職員録に E-mail アドレスがない等の理由により、メールが送信できない対象者には、紙文書にて通知いたします。

※学内広報の右側「各種事務手続き(申請・様式)」にある「R 元年度利益相反定期自己申告」のバナーは地域連携推進課 HP にリンクしていますので、様式等のダウンロードが可能です。

<http://gspd.jim.u-ryukyu.ac.jp/gakusaibu/chiiki/?p=963212>

4. 申告書の提出方法

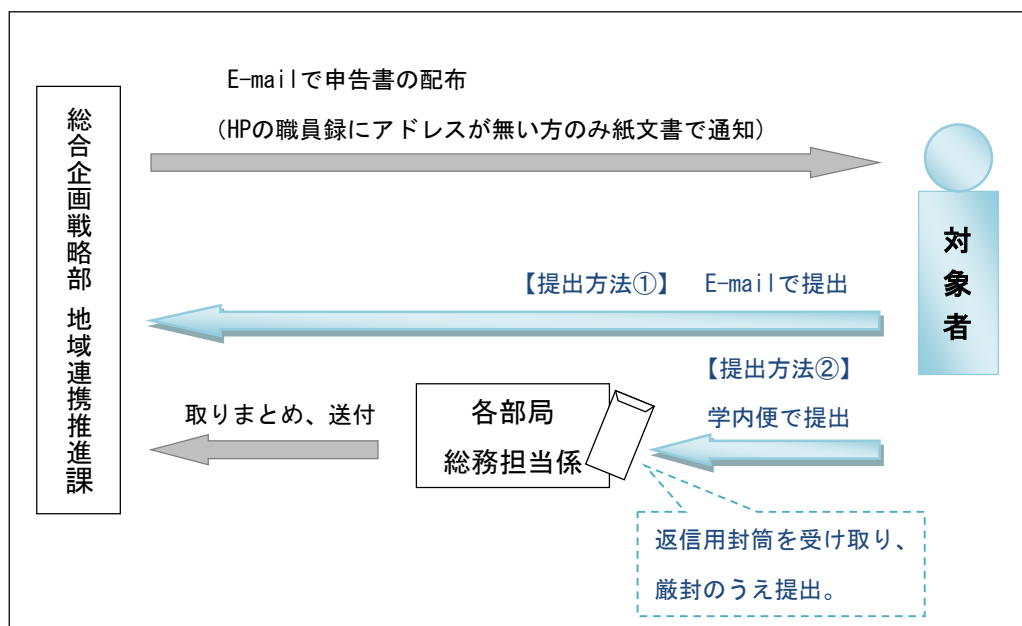
① E-mail で提出

入力済の申告書をメールに添付のうえ、利益相反担当E-mailアドレスまで返信してください。ファイル名やメールの本文などは、特に書き換える必要ございません。

※メール送信時のセキュリティが気になる方は、自己申告書にパスワードを設定した上添付してください。「Excelのパスワード設定方法」については地域連携推進課HPをご参照ください。

② 学内便で提出

学内便で提出する場合は、各部局の総務担当係に返信用封筒を配布しておりますので、封筒を受け取り、厳封の上、ご提出願います。



5. 特記事項

① 本学における利益相反マネジメント制度については、地域連携推進課 HP をご参照ください。

<http://gspd.jim.u-ryukyu.ac.jp/gakusaibu/chiiki/?p=963212>

② 厚生労働科学研究、労災疾病臨床研究事業、日本医療研究開発機構研究事業（AMED）については（自己申告書 Q6）、受け入れ金額に関わらずそれぞれ厚労省と日本医療研究開発機構へ報告することが求められていますので研究課題の記載をお願いいたします。

研究代表者・分担者全てが報告対象となりますので、もれなく記載くださいますようお願いいたします。

③ 提出された自己申告書は、利益相反マネジメント委員会の下、厳重に管理し、5年間の保管期間経過後は廃棄いたします。また、収集した個人情報 は法令上要求されて拒否できない場合を除き、外部には漏らさずかつ利益相反マネジメント以外の目的には使用いたしません。

以上、ご不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

◆ 提出先及び問い合わせ先 ◆

総合企画戦略部 地域連携推進課 利益相反担当

内 線：2013

E-mail：riekisouhan@acs.u-ryukyu.ac.jp